

# 第60期報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

スマート社会のその先へ  
真空技術で支える豊かな未来



株式会社 昭和真空

(証券コード：6384)

## 経営理念

- ① 我々の存在が「世の中を豊かにする」ためにお役に立つこと。
- ② 仕事に本気で取り組み「物を創造する喜びとプライド」を得ること。
- ③ 仕事を通して「人間的に成長する」こと。

## 決算ダイジェスト

売上高

11,824百万円

営業利益

1,814百万円

経常利益

1,830百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

1,539百万円

### 決算のポイント

- ① 水晶・光学向け中心に装置受注は堅調に推移
- ② 前期の受注残を着実に納品し売上は順調に推移
- ③ 工場稼働率が引き続き良好に推移、品質向上・コストダウンにより利益面は好転（過去最高益）
- ④ 次世代電子部品向け依頼実験対応、装置開発に注力
- ⑤ 既存技術応用分野、新規市場開拓に徐々に成果

## 次期の見通し

売上高

12,500百万円

営業利益

1,494百万円

経常利益

1,500百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

1,038百万円

### 今後の取り組み

- ① 水晶デバイス向け次期主力装置の開発
- ② 光学装置の生産体制・品質向上への取り組み強化
- ③ 顧客との共同開発の実施と成果の実現
- ④ グループ間の連携強化とアジア市場への対応強化

## 堅調な受注を背景に 工場稼働率は良好に推移、 利益率の改善に努め 過去最高益を達成しました。

代表取締役執行役員社長

小俣 邦正



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、総じて緩やかに回復しました。米国では景気の着実な回復が続き、欧州でも消費が増加、機械設備投資が緩やかに増加し、中国では各種政策効果もあり景気に持ち直しの動きが続きました。国内経済は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善等を背景に緩やかな回復基調が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、引き続きスマートフォン関連や電装化の進展による車載関連の市場を中心に電子部品需要が堅調に推移しました。電子デバイスメーカー各社の次世代製品開発への取り組み姿勢は積極的に推移し、設備投資意欲も継続しました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。また、次世代製品に向けた電子デバイスメーカーからの依頼実験や製品開発にも引き続き意欲的に取り組むことで事業の拡大を図ってまいりました。

生産面では、前期の受注残と堅調な受注を背景に生産量が安定するとともに、工場の稼働率は良好に推移しました。また、メンテナンス性改善や社内検査の強化など、さらなる品質向上に取り組みました。

損益面では、安定した稼働率とグループ一丸で取り組ん

でいるコストダウンの推進等により利益率の改善に努めました。

この結果、当連結会計年度の業績は、受注高118億83百万円(前期比7.9%増)、売上高118億24百万円(同36.9%増)となりました。

損益につきましては、経常利益18億30百万円(前期比103.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益15億39百万円(同116.8%増)と過去最高益を計上しました。

今後の見通しにつきましては、中国を始めとしたアジア新興国等の経済の先行きへの不安や、政策の動向や影響ならびに金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がありますが、国内外ともに緩やかな回復が続くことが期待されています。

当社グループを取り巻く事業環境を見ると、第5世代への対応を背景とした次世代スマートフォンや電装化が進展する車載関連市場が電子デバイスメーカーを牽引するものと予想しています。電子部品メーカーでは、次世代製品向けの電子部品開発が加速していくものと考えています。

当社グループといたしましても、新しい成膜ソフトやそれらを内在した真空装置の技術革新に積極的に取り組んで、さらなる成長のために市場への展開を図ってまいります。また、既存技術応用分野の開拓の継続や製品基本性能の信頼性向上とアフターサービスの充実にも努めてまいります。

## キーテクノロジーは『真空技術』



真空技術は、スマートフォンに代表される高性能携帯端末、液晶ディスプレイ、光ディスク、太陽電池、自動車（カーエレクトロニクス）、医療機器など、実にさまざまな最終商品を生産するうえで必要不可欠な技術です。しかしながら、真空技術で最終商品を直接製造しているわけではありません。例えば、スマートフォンには根幹部品として温度補償水晶発振器（TCXO）や水晶振動子などが組み込まれていますが、これら水晶デバイスの電極形成工程や周波数調整工程などで昭和真空の真空技術を応用した装置が使用されているのです。その他にカメラレンズや自動車のリフレクター、LEDなどを製造する際にも真空技術応用装置が使用されています。

昭和真空のキーテクノロジーである『真空技術』は、多くの産業そして商品を支える基盤技術なのです。

### Topics

## 水晶式膜厚計“COAT LEADER”で生産性向上

水晶式膜厚計は、『蒸着などにより基板に薄膜を形成する真空装置において、水晶振動子が蒸着されると水晶振動子の周波数が変化する性質を利用して』膜の厚さや成膜する速度（レート）を測定・コントロールする働きをします。

今回開発したCOAT LEADER（コートリーダー）は、当社独自の測定方式（特許出願中）の採用により、従来の膜厚計に比べると、膜厚制御性・レート制御性が飛躍的に向上し、高い精度の測定を可能とただけではなく、水晶式膜厚計の消耗品である水晶振動子の長寿命化を実現したことにより、お客様の生産性向上に貢献する水晶式膜厚計となっています。当社製の蒸着装置が対象の場合、既存の膜厚計と置き換えられる互換性を備えているため、新規装置だけでなく、現在お客様にお使いいただい

ている既存装置の生産性向上にも活用いただけるコンポーネントとなっております。

今後もお客様にメリットを提供できるコンポーネントの開発に努めてまいります。












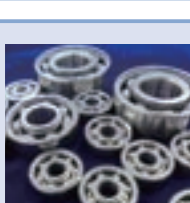

COAT LEADER



# 昭和真空を支える 事業・分野別アプリケーション マトリックス

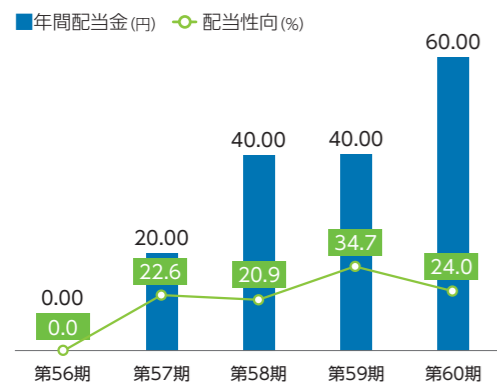
## 家庭用機器分野

## 社会基盤分野

 <p>水晶デバイス装置</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン</li> <li>自動車</li> <li>パソコン</li> <li>家庭用ゲーム機</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>交通</li> <li>電波基地局</li> </ul>	<p>水晶振動子や水晶発振器、SAWフィルターなど、水晶を基板としたクォーツデバイスとして使われています。</p>
 <p>光学装置</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン</li> <li>カメラ</li> <li>プロジェクター</li> <li>LD・CD・DVD</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>交通</li> <li>内視鏡</li> </ul>	<p>カメラモジュールや色分離フィルター、光ピックアップレンズなど、オプトエレクトロニクスの分野で使われています。</p>
 <p>電子部品装置・ その他装置</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン</li> <li>液晶ディスプレイ</li> <li>家庭用ゲーム機</li> <li>パソコン</li> <li>自動車</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>交通</li> <li>エネルギー</li> <li>医療設備</li> <li>IC・LSI・MPU・メモリ</li> </ul>	<p>電極膜や保護膜、装飾膜など情報化社会を支えるあらゆる分野で使われています。</p>
 <p>サービス事業</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>保守</li> <li>点検</li> <li>改造工事</li> <li>部品販売</li> <li>移設工事</li> </ul>		<p>当社製の真空装置の能力を最大限に発揮できるよう、純正部品や消耗品の販売及びメンテナンス、改造工事などを行っています。</p>

### 利益分配に関する基本方針

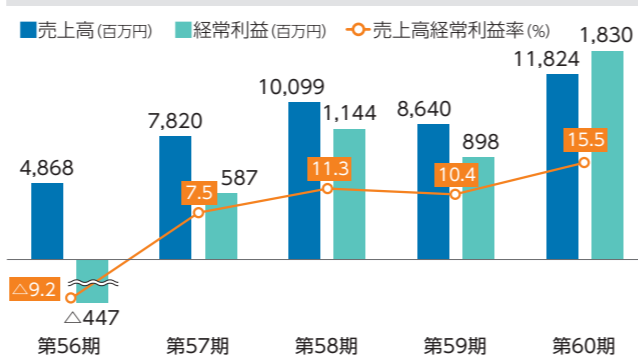
当社は業績の伸長度に応じた安定的な経営基盤の確保及び財務体質の健全性維持を勘案しつつ、安定した利益還元を継続的に実施していくことを基本方針としております。つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すため、平成30年3月期の期末配当について、普通配当を50円に増配するとともに、設立60周年記念配当10円を実施し、合計60円の配当を実施いたしました。



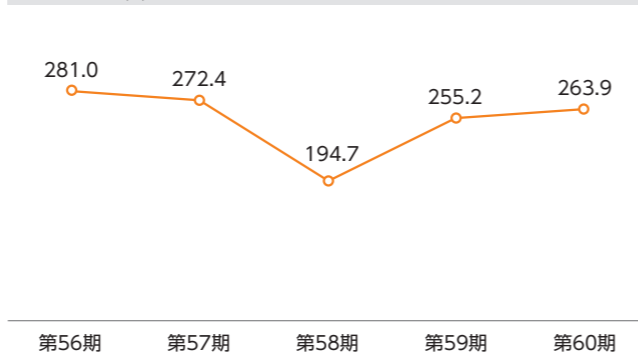
### 財務ハイライト

● 財務に関する詳しい情報は <http://www.showashinku.co.jp/ir/> をご参照ください。

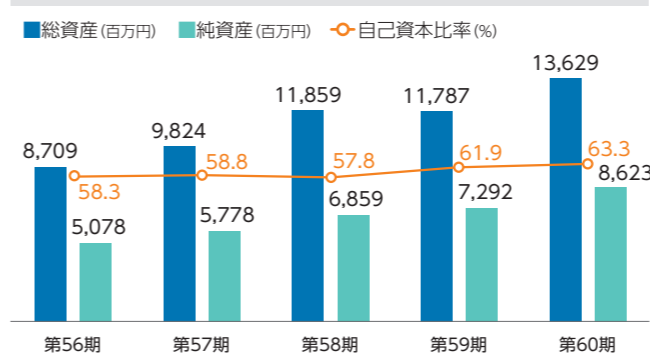
売上高・経常利益・売上高経常利益率



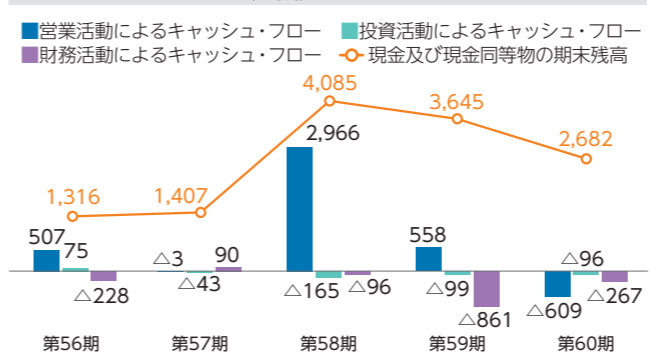
流動比率(%)



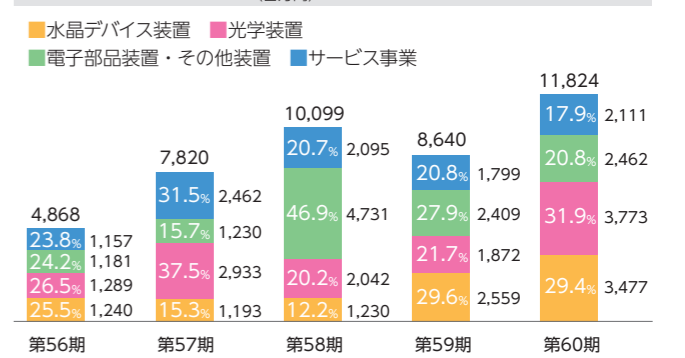
総資産・純資産・自己資本比率



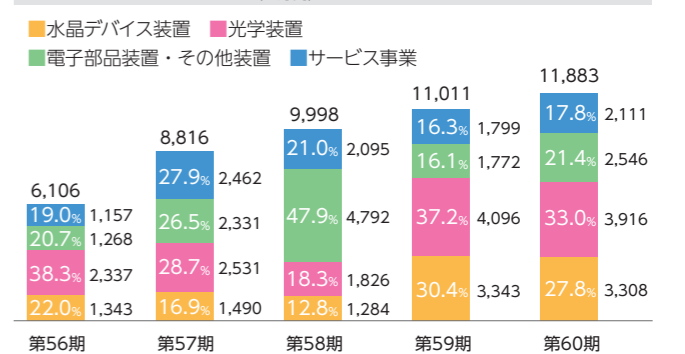
キャッシュ・フロー(百万円)



品目別売上高構成比(百万円)



品目別受注高構成比(百万円)



株式の状況

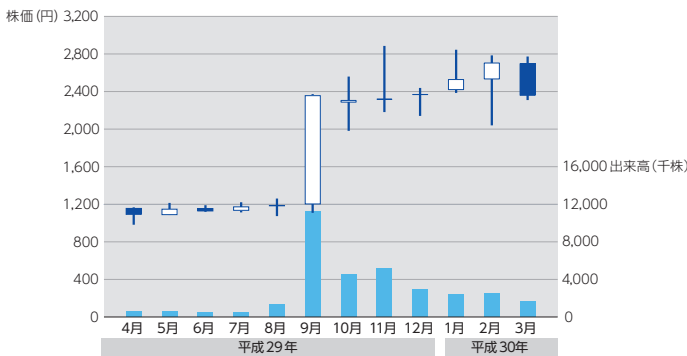
発行可能株式総数 13,800,000株  
 発行済株式の総数 6,499,000株  
 株主数 3,944名

大株主

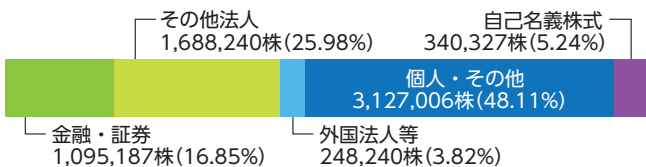
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.59
小侯邦正	602,100	9.78
有限会社小侯興産	341,440	5.54
株式会社昭和真空	340,327	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	270,800	4.39
昭和真空従業員持株会	171,952	2.79
小侯佳子	160,000	2.59
株式会社三菱東京UFJ銀行*	145,000	2.35
日本証券金融株式会社	115,300	1.87
日本生命保険相互会社	115,200	1.87

\*株式会社三菱東京UFJ銀行は平成30年4月1日付けで株式会社三菱UFJ銀行に社名変更しております。

株価及び売買高の推移(月次)



所有者別株式状況(株式数)



株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日  
 基準日 3月31日  
 その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め公告いたします。  
 配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当金の支払を行う時は9月30日  
 公告方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告によることのできない場合は日本経済新聞に掲載する。  
 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

会社概要

商号 株式会社昭和真空  
 設立 1958年(昭和33年)  
 資本金 2,177,105,200円  
 従業員数 188名  
 営業種目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの総合的な真空関連装置並びに真空機器等  
 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンプレーティング装置、ALD装置、ドライエッチング・アッシング装置、真空冶金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜用モニター(多色式、単色式)、IAD 冷陰極イオンソース、液晶注入装置、その他

取引金融機関 三菱東京UFJ銀行\*、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、八千代銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

\*株式会社三菱東京UFJ銀行は平成30年4月1日付けで株式会社三菱UFJ銀行に社名変更しております。

事業所

●本社・相模原工場  
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10  
 TEL. 042-764-0321/FAX. 042-764-0329

役員(平成30年6月26日現在)

代表取締役執行役員社長	小侯 邦正	社外取締役	末代 政輔
取締役執行役員常務	市川 正	社外取締役	山本 雅子
取締役執行役員	高橋 理	常勤監査役	村木由之亮
取締役執行役員	久島 博美	社外監査役	千葉 睿一
取締役執行役員	田中 彰一	社外監査役	清水 雅人

グループ会社及び関係会社

●グループ会社

昭和真空機械(上海)有限公司

- 所在/中国上海市
- 主な事業内容/当社装置の生産

昭和真空機械貿易(上海)有限公司

- 所在/中国上海市
- 主な事業内容/当社装置・部品の販売、サービス・メンテナンス

株式会社エフ・イー・シー

- 所在/埼玉県狭山市
- 主な事業内容/マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売

●関係会社

Sansei-Showa Co., Ltd. USA

- 所在/米国オハイオ州



昭和真空機械(上海)有限公司  
 昭和真空機械貿易(上海)有限公司



株式会社エフ・イー・シー

IRカレンダー 第61期(平成30年4月~平成31年3月)

5月	第60期 決算発表	11月	第61期 第2四半期決算発表
6月	第60回 定時株主総会	2月	第61期 第3四半期決算発表
	経営報告会		3月
8月	有価証券報告書提出		
	第61期 第1四半期決算発表		

●トップページ  
<http://www.showashinku.co.jp/>  
 ホームページでさまざまな情報をご覧いただけます。

●「株主・投資家の皆様へ」トップページ  
<http://www.showashinku.co.jp/ir/>  
 株主の皆様には有益なIR情報はこちらをご覧ください。

